



会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一  
 お問合せ先 経営戦略統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

**2014年8月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告**

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	8月度	3～8月度累計
百貨店事業	0.3 (0.3)	▲1.5 (1.1)
パルコ事業	▲0.7	1.4
卸売事業	▲11.7	▲7.5
クレジット事業	18.4	19.7
その他事業	3.7	9.4
連結合計	▲1.4	▲0.2

(注)百貨店事業合計の( )内は、松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・8月度の百貨店事業の売上高は、西日本・中部地区の店舗を中心に、台風上陸や降雨日数増によるマイナス影響を大きく受けたものの、宝飾品や化粧品が対前年プラスに転じたほか、下旬に入り気温の低下に伴い秋もののファッションの定価商品も好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年0.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同0.3%増となり、ともに前年実績を上回った。

2) パルコ事業

- ・パルコは、月初の台風上陸や長雨などの天候不順により衣料品が影響を受けたものの、月後半には気温の低下に伴い晩夏、秋物ファッションがよく動いたほか、月を通して時計、バッグ、スニーカーなどが好調に推移したことから、対前年1.6%増となった。一方、総合空間事業のパルコスペースシステムズは、前年に大きく伸ばした反動によりマイナスとなったため、パルコ事業合計では対前年▲0.7%減となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、酒類販売が好調であったものの、食品やホームセンター向け商材などが苦戦し、対前年▲11.7%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、大丸松坂屋百貨店・お得意様ゴールドカードのクレジット化による手数料収入の増加などが寄与し、対前年18.4%増となった。
- ・その他事業は、今期よりフォーレストが加わったことにより、対前年3.7%増となった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2014年8月度 百貨店事業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	8月度		3～8月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	3.0	▲0.2	▲0.0	▲1.6
大丸 梅田店	7.1	▲0.9	3.0	▲1.6
大丸 東京店	6.5	3.4	6.2	0.7
大丸 浦和パルコ店	▲8.2	▲3.9	▲4.8	▲1.6
大丸 京都店	1.5	0.2	2.5	0.4
大丸 山科店	▲2.2	▲3.0	▲2.7	▲4.7
大丸 神戸店	1.4	▲3.1	3.2	▲1.6
大丸 須磨店	▲3.8	▲4.4	▲3.6	▲2.8
大丸 芦屋店	▲4.9	▲1.0	▲2.9	▲0.4
大丸 札幌店	2.7	▲3.0	0.9	▲5.2
松坂屋 名古屋店	▲2.7	▲4.9	2.7	▲5.2
松坂屋 上野店	▲14.5	▲18.6	▲8.3	▲11.0
松坂屋 静岡店	3.5	8.7	2.5	7.6
松坂屋 高槻店	1.8	▲4.4	▲0.2	▲2.7
松坂屋 豊田店	▲3.3	▲0.0	▲2.0	0.7
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>0.6</b>	<b>▲1.6</b>	<b>1.4</b>	<b>▲2.0</b>
博多大丸	▲0.6	▲2.1	0.2	▲3.0
下関大丸	▲2.7	1.4	▲2.9	3.7
高知大丸	▲7.2	▲16.1	▲4.0	▲6.3
<b>百貨店事業合計</b>	<b>0.3</b>	<b>▲1.7</b>	<b>1.1</b>	<b>▲2.0</b>

(注)合計は、松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

前年に松坂屋銀座店を含めた3～8月度累計売上高の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲1.5%減、百貨店事業合計 同▲1.5%減。

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	8月度	3～8月度累計
紳士服・洋品	3.1	0.1
婦人服・洋品	0.5	1.5
子供服・洋品	9.3	3.3
その他の衣料品	▲0.8	1.3
衣料品計	1.2	1.4
身回品	▲2.7	0.0
化粧品	6.3	7.4
美術・宝飾・貴金属	3.4	2.4
その他雑貨	46.6	26.6
雑貨計	8.7	6.4
家具	▲4.2	10.3
家電	▲29.2	▲12.1
その他の家庭用品	0.8	3.1
家庭用品計	▲1.8	4.0
生鮮	▲1.7	▲2.4
菓子	0.5	1.1
惣菜	3.5	2.1
その他食料品	▲3.0	▲1.4
食料品計	0.1	0.1
食堂・喫茶	▲1.3	▲4.2
サービス	▲13.9	▲7.6
その他	▲9.5	0.5
合計	0.6	1.4

(注)松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

### 3. 売上高概況

婦人服・洋品は、下旬以降スカート、ニットなどの秋物ファッション衣料がよく動いたことから前年を上回った。紳士服・洋品は、スーツ、ジャケットなどの衣料品が好調であった。身回品は、かばん・旅行用品が売上を伸ばしたものの、台風上陸や天候不順により婦人靴のほか、日傘・サングラスなどが苦戦した。雑貨は、化粧品が対前年プラスとなったほか、時計は2桁増となるなど高額品も売上を伸ばした。食品は、東京店などが牽引し3か月ぶりにプラスとなった。